

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	プレゼンテーション	
科目基礎情報							
開設学科	環境・バイオ科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	15時間
単位数	1単位					授業形態	講義
教科書/教材	世界一やさしい エクセル ワード パワーポイント 2016/2013/Office 365 対応						
担当教員情報							
担当教員	堀川 典子			実務経験の有無・職種	有・経営コンサルタント		
学習目的							
プレゼンテーションの目的と原理原則について学んで、自分の講義課題や演習授業の場で実践し、実際のアウトプットを行うことが出来るようになる。そのために「パワーポイント」「エクセル」「ワード」などのツールを使用したり、ネットの情報を検索することが出来るようになる。プロジェクトについてプレゼンテーションの土台をつくり、「問題解決の進め方」「応用化学実験」さらには卒業展でプレゼンテーションができるようになる。							
到達目標							
課題に対して自分なりのストーリーを作り、そのストーリーに合ったスライドの流れを考えることが出来るようになり、ワード・エクセル・パワーポイントを使って「伝わる」資料を作成し、聴衆に「伝える」ことができるようになる。スライドだけでなく、さまざまな手段を使って効果的なプレゼンテーションができるようになる。							
教育方法等							
授業概要	さまざまな場面で必要とされるプレゼンテーション能力を磨きます。多くの現場で「プレゼンテーション」をすることが求められている。それはすなわち目的に対していかに情報を提供するかであり、その伝える手段として「話す」ことや「資料」で伝えることである。本講義はプレゼンテーションに臨むうえでの考え方や姿勢の理解を基本としながら「プレゼンテーション」を実践的に学ぶ。またプレゼンテーション資料作成のために「パワーポイント」「エクセル」「ワード」の活用ができるようになる。						
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーと能動的な学習姿勢で授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は取得ができない。本授業では課題のプレゼンテーションを行わないと単位取得は認められない。「問題解決の進め方」につながるので、しっかりと身に付けること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	40%	課題を提出してもらう				
	小テスト						
	レポート						
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
	その他	40%	課題のプレゼンテーションによって評価する				
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	「よいプレゼンとはどんなものか」			わかりやすいプレゼンがどのようなものかを理解でき、ストーリーの基本的なパターンがわかる			
2回	表とグラフ			表とグラフを作成し有効に使うことができるようになる			
3回	スライドの構成			課題を伝えるのに最適なストーリー構成とキーワードを考えることができる			
4回	スライドの構成（文字）			効率的な文字サイズ、フォントを選べるようになる			
5回	スライドの構成（配置）			美しく見え、伝わる文字配置ができるようになる			
6回	課題プレゼンテーション1			ストーリーが構築でき、スライドを作成、課題に対するプレゼンテーションができる			
7回	発表時のポイント			発表するときの態度や話し方を工夫できるようになる			
8回	課題プレゼンテーション2			プレゼンテーションの修正ができ、課題に対する効果的なプレゼンテーションを工夫できる			